

大五建設社内報

令和5年8月25日発行

～第111号～

編集：イメージアップ委員会

＜親子木工教室＞

8月5日に親子木工教室を開催いたしました。コロナ禍以降、木工キットの配布という形で継続していましたが、木工教室自体は4年ぶりの開催となりました。当日は8組の方にご参加いただきました。天気も良く、みなさんケガなく終えられたことが何よりでした。

また、楽しかったと言っていた方が多く、ご家族の良い思い出になれたかなと思います。

(越田)



＜木造組立作業主任者＞

先日、前橋問屋センターで行われた木造組立作業主任者の講習を2日間受けてきました。この資格は、軒上5m以上の構造部分を組み立てる際に、安全面などの監督を行うことができる資格です。

講習を通して、現場の作業主任者が足場、工具、現場の指揮などに対する安全行為を怠ると災害に直接結びついてしまう事がよくわかりました。これからより一層安全な現場作りが出来るよう行動していきます。

(清水)



＜業者会議＞

7月24日に勤労者会館で業者会議が開かれました。ここ数年はコロナ禍のため、開催できませんでしたが、今回20組を超える業者さんに参加して頂きました。

まず、渡辺社長より「お客様満足のため、より一層のご協力をお願いしたい」との話がありました。続いて高田課長より災害事例の報告、松原専務より熱中症対策、お客様アンケートの結果などに関する話がありました。また、宮本主任より安全対策に関する細かな話、田貝課長よりお客様紹介情報の依頼がありました。

協力業者の皆様には、これからも安全・安心な現場づくりをよろしくお願い致します。

(安藤金)



<納涼祭>

8月3日にホテルアミューズさんにて、協友会の納涼祭を行いました。ここ数年はコロナウイルスの影響もあり、社員全員で集まって食事をする機会は忘年会のみでした。しかし、今年から協友会の活動を本格的に再開することとなり、納涼祭も無事行うことができました。

仕事の時だけでは話す機会がなかった方とも多く話すことができ、とても貴重な時間となったのではないのでしょうか。

(浅川)



<百日草>

先日、長く花が咲くという話を聞いて、百日草の小鉢を買ってみました。先端に小さな蕾ができ、花が咲き始めています。

百日草はキク科の植物の一つで、開花期間が長いこと、花の寿命が長いことが特徴です。そのため、日本ではウラシマソウ（浦島草）やチョウキュウソウ（長久草）とも呼ばれるそうです。また、ヒャクニチソウ属は南北アメリカ大陸などが原産地だそうです。

(安藤金)



<空>

以前、たまたま見た月がとても綺麗な三日月で、それからよく見上げては写真を撮るようになりました。過去に撮った写真を見返してみると、ちょうど一年前頃からでした。

「上を向いて歩こう」という曲が有名かと思いますが、上を向いて、空を見上げ、少し深呼吸をすることも大事だと思います。皆さんも外に出たときに、空を見上げ、深呼吸してみたいはいかがでしょうか。

(浅川)



<青木さんの趣味>

青木さんの趣味はサッカーです。社会人サッカーに週1回参加されているそうで、お子さんのサッカーにも参加できる時は参加しているそうです。

ポジションはGKで、GKの魅力をお聞きしたところ、「シュートを止めたらヒーローになれるところです。」とおっしゃっていました。

(越田)



上段左から2番目が暖流(はる)くん
3番目が翔愛(とあ)くん

<線香花火>

先日、友人と夏らしい事がしたいという話になり、手持ちの花火をしました。暗闇の中光る線香花火がすごく綺麗でした。そこで、線香花火の歴史が気になり、調べてみました。

江戸時代、細い藁の先に火薬をつけた花火を香炉や火鉢の灰に立てて遊んでいたそうです。その様子が仏壇に供える線香のようだったので、線香花火と呼ばれるようになったそうです。

(清水)

